



茅野市のデジタル田園健康特区関連事業を視察 自見内閣府特命担当大臣 茅野市視察

1月17日、自見英子内閣府特命担当大臣（地方創生）が、地方創生に関する特色ある取り組みや地域のニーズ等を把握し、今後の施策に生かすため、国からデジタル田園健康特区に指定されている茅野市を訪れ、特区関連事業を視察しました。

茅野市役所で今井市長と会談を行った後、訪問看護ステーションいろは、諏訪中央病院、CHUKOらんどチノチノを視察し、担当者から特区関連事業の取り組みの説明を受けるなどしました。

視察の様子はQRコードからもご覧いただけます。



歯と口の健康を通じて健康寿命の延伸を 株式会社ロッテと包括連携に関する協定締結

1月16日、株式会社ロッテと包括連携に関する協定を締結しました。茅野市役所で行われた締結式には、株式会社ロッテ執行役員中央研究所の芦谷浩明所長らが出席しました。

協定は、茅野市と同社に加え、茅野市諏訪郡歯科医師会や諏訪中央病院とも連携し、歯と口の健康を通じた市民の健康増進、噛むことの大切さの普及啓発、加齢に伴い低下しがちな口腔機能の維持などに取り組んでいく内容となっています。同社と自治体の協定は、今回で8例目となり、長野県内では初めてとなります。



子どもたちの力作を表彰 「社会を明るくする運動」 作文コンテスト表彰式

1月29日、第73回「社会を明るくする運動」作文コンテスト表彰式が茅野市役所で開催され、県入選および市入賞作品に選ばれた児童・生徒の表彰が行われました。

同コンテストは、「社会を明るくする運動」の一環として、次代を担う小・中学生に、日常の家庭生活、学校生活の中で、体験したことを基に、犯罪・非行のない地域社会づくりや犯罪・非行などに関して考えたことや感じたことを作文に書くことを通じて、この運動に対する理解を深めてもらうことを目的としています。

今回は市内537作品の応募作品の中から、県入選3点、市優秀賞8点、市入選19点が選ばれました。

本運動に関する取組みは、QRコードからもご覧いただけます。

